



学校だより

令和6年度 卒業式・修了式号

東京都立町田の丘学園校長

<https://machida-sh.metro.ed.jp/>

令和7年3月19日発行

ご卒業・ご進級おめでとうございます

校長 三浦 昭広

本日、高等部の卒業式を挙行了しました。卒業生の皆さん、保護者の皆さま、ご卒業おめでとうございます。

高等部47名の生徒が本校を立派に卒業しました。卒業生が高等部に入学した年に私は校長に着任しました。これまでの間、卒業生の着実な成長を見てきました。これから、新しい場所、新しい環境での生活が始まります。本校で学んできたことや経験したことを生かして、自信をもって自分らしく輝いてほしいと思います。いつまでも応援しています。

小・中学部の卒業式は、21日金曜日に実施いたします。小・中学部の卒業生には、それぞれ中学部、高等部でも目標をもって元気に頑張ってもらいたいと思います。

在校生の皆さんは、進級してからも楽しく学び、たくさんの方に挑戦してほしいと願っています。7月にはグラウンドが完成します。グラウンドでの活動を楽しみにしてください。

さて、今年度は本校にとって大きな変化がありました。それは、約10年ぶりに山崎校舎で学んでいたB部門の小学部と中学部の児童・生徒が本校舎で活動するようになったことです。当初、本校舎での生活に慣れるまでに時間を要するものと考えていましたが、すぐに慣れ生き生きと学校生活を送る様子を見ることができました。そのことを通し、子供の成長を感じることができました。また、校舎統合にあたり、保護者の皆さまのご理解とご協力に感謝しております。

3月26日から春季休業日になります。保護者の皆さまには、児童・生徒の自分らしい役割（お手伝いなど）を決めてほしいと思っています。そして、その役割を果たした際には、「ありがとう」、「よくできたね」、「頑張ったね」などの称賛や感謝の気持ちを表してほしいです。そのことを繰り返すことで子供の自己肯定感や自己有用感が高まります。児童・生徒一人一人に応じた役割分担をよろしくお願いいたします。

一方、事故や災害にも十分ご注意ください。行方不明などの事故防止に向けて、外出する際には、目的地、同行者、帰宅時間、連絡方法などを確認するようにしてください。

必要に応じて保護者の皆さまと学校が連絡を取り合い、児童・生徒の様子を共通理解することが重大事故の未然防止につながります。心配なことがありましたら、学校までご連絡をよろしくお願いいたします。夜間や休日等に緊急連絡をとる必要がある場合は、お知らせしている副校長所持の学校携帯までご連絡をよろしくお願いいたします。

結びに、今年度も保護者の皆さまには、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございました。来年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

卒業・進級おめでとうございます

B部門小学部と中学部のみなさん、卒業・進級おめでとうございます。

今年度は、みなさんにとっても、先生方にとっても本当に大きな出来事がありました。それは、10年ほど過ごしてきた山崎校舎から野津田の本校舎への引っ越しです。1学期には、引っ越しの準備を先生と一緒にやりました。みなさん、暑い中、汗を流しながら教室の荷物の片づけをしてくれましたね。本校舎に慣れるために、何度も野津田の校舎に来て探検もしました。普段では経験できないたくさんのお話を学ぶことができたと思います。

これからも、きっとたくさん初めてのことにぶつかることがあるはずです。不安に思ったり、心配でたまらなかったり、ときには嫌になってしまうこともあると思います。こんなときは、ぜひ家の人や先生と相談してみてください。きっと後押しをしてくれるはずです。そして、ちょっとだけ勇気を出してチャレンジです。
(井上 学)

節目の時期です。卒業・進級おめでとうございます。

高さ20メートル以上にもなる竹は、なぜ簡単には折れないのでしょうか。それは「節」があるからだそうです。「節」があることで、しなりが生まれ、簡単には折れないのだそうです。これは人にも通じる話だと思いました。人も成長するにつれ、大きな「節目」を迎えます。小学部・中学部・高等部を卒業する節目があることで、人は成長を感じ、強く、しなやかになってゆくのではないのでしょうか。また、竹は土の中で地下茎でつながっています。みんなで協力してそれぞれが大きく成長しています。みんなで協力し、助け合うからこそ、竹は強く、人も強くなるのだと思います。

この大切な節目の時期、みんなで「おめでとう」と伝え、児童・生徒の成長を喜ぶとともに、強くしなやかな成長を祈っています。御卒業・進級おめでとうございます。

(福元 太郎)

御卒業・進級 おめでとうございます。

今年度は山崎校舎との合併もあり、特にB小・B中の皆さんは新しい教室になれるのに大変では、と思っていましたが、思っていた以上にスムーズに2学期が始まり、本当に良かったと胸をなでおろしました。A部門やB高の児童・生徒の皆さんも、自然とその状況に慣れてきて、皆さんの適応力が素晴らしい！と思います。

4月からは、それぞれがまた今年とは異なる環境で、1年をスタートすることになります。来年度も毎日を健やかに、落ち着いて学んでほしいと思います。高等部卒業生の皆さんは、大きく環境が変化すると思います。まずは体を大事にして、ゆっくりじっくり新しい生活に臨んでください。ご活躍を祈念しています。

(野口 浩一)